

週刊「中国・アジア・ダイジェスト

2012.01.23~01.27

記事の詳細は、情報検索サービス

『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

1月23日(月)

ホンダ、HVを中国で生産
2モーター搭載/「アコード」有力
ホンダは中・大型車向けに現在開発中の次期システムを搭載したHVを2014年以降、中国でも生産する。2モーター搭載。中・大型のセダンを好むニーズに応え「アコード」が有力。(1面)

日立工機、中国に新工場

エンジン工具/月10万台

日立工機は、広東省広州市のエンジン工具工場を完成した。生産子会社の広州日立工機の工場で、生産能力はチェーンソーなど月10万台。従業員100人で生産を始めた。(7面)

1月24日(火)

クボタ、中国でトラクター生産
年2万台/コスト競争力向上

クボタは、2013年に中国で農業用トラクターの現地生産に乗り出す。生産能力は年間2万台規模。中国向けは日本から輸出しているが、現地生産でコスト競争力を向上し、拡販につなげる。(7面)

タイのインラック首相はインドのシン首相と会談、2012年半ばに2国間の自由貿易協定(FTA)を結ぶことなどで合意した(25日ニューデリー=ブルームバーグ)



カプロラクタム製造設備を受注
東洋エンジン/年産20万t規模

東洋エンジニアリングは、江蘇省南京市向けカプロラクタム製造設備を受注した。年産20万tの設備を建設する。受注額は約40億円。設計、調達サービス、工事管理を担当する。(7面)

1月25日(水)

神鋼、中国にバネ工場
月600t/エンジンバルブ向け
神戸製鋼所は、中国で自動車エンジン

のバルブ用バネ(弁バネ)に用いる高級鋼線の現地生産に乗り出す。生産能力は月600t。弁バネメーカーの現地生産能力の拡大に対応する。(15面)

1月26日(木)

自動車解体リサイクルで合弁
月3000台/豊田通商など

豊田通商は、中国の成都聚源再生資源回収、昭和メタルと3社合弁で成都市に自動車解体リサイクル会社を設立する。秋に月間処理能力2000~3000台のリ

サイクル工場を稼働する。(6面)

1月27日(金)

日新電機、揚州市に新工場

イオン注入装置/半導体製造用
日新電機は、江蘇省揚州市に新工場を建設し、半導体・薄型ディスプレー(FPD)製造用イオン注入装置の生産を2012年7月に始める。半導体用装置換算で月産能力は2台。(9面)

超硬ドリル、月産22万本体制
O S G/日中に20億円増産投資

O S Gは、超硬ドリル事業で、2013年11月期に11年11月期比80%増の月産22万本体制を構築する。日本、中国の両工場に計約20億円を投資する。自動車、建機、航空機向け需要増に対応。(11面)

東洋紡、上海を法人化

フィルム・機能樹脂・ライフサイエンス

東洋紡は、上海の中国事務所を2月1日に法人化する。社名は東洋紡新銅(上海)貿易。フィルムと機能樹脂、ライフサイエンス分野の販売支援に、直接営業や技術サービスを手がける。(16面)

関西6会議所、中国で観光PR

上海・広州で懇談

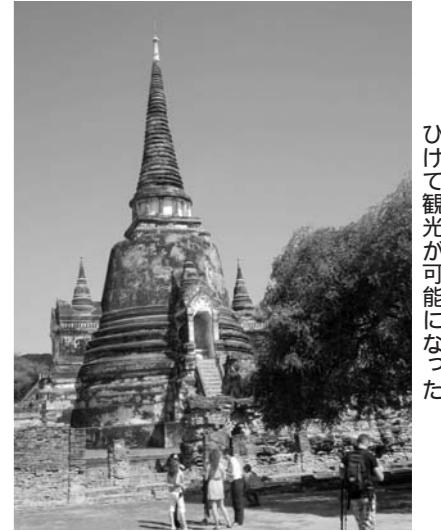
大阪・京都・神戸・奈良・大津・和歌山の6商工会議所は、6月7日から中国で観光プロモーション。各会議所の会頭らが上海市と広州市を訪問。現地の経済団体や有力企業のトップと懇談。(35面)

ひと

中国の熱気

「中国の研究開発の飛躍はめざましい。『教えてあげる』ではなくて、新しい形の連携を考えなくてはならない」と気を引き締めるのは、電気通信大学教授の白田耕蔵さん。日本の研究現場では「予算額自体はあっても若者のチャンスが少ない」と困り顔。(26日=23面)

(26日=23面)



アユタヤ歴史公園には、水が
ひたたかれて観光が可能になつた

動も平常を取り戻してきている。日本人は年間で約100万人が来訪するが「前年同期の3割程度」(JTB)と、客足はまだ鈍いのが現状だ。(26日=17面)

ひと

『浸かってもタイ』

洪水に見舞われたタイ。新規進出する日系企業からの相談は洪水前を上回る水準。「ASEAN自由貿易地域による関税削減・撤廃が進んでいることも大きな理由」と指摘するのはサイアム・シティー法律事務所顧問の楠本隆志さん。「『浸かってもタイ』」。(23日=18面)

ASIA

1月23日(月)

トヨタ、インドネシア第2増強
110億円追加投資/年23万台体制

トヨタ自動車が、インドネシアのカラワン県で建設中の第2車両工場の年産能力を、2013年半ばにも5万台に拡大する追加投資を計画。約110億円投資。現地の年産能力は23万台。(1面)

台湾 - 対中融和路線を継続
馬政権2期目/急接近に警戒感も

台湾総統選挙で馬英九国民党主席が再選した。5月に2期目(任期4年)に入る。台湾は馬政権の対中融和路線による安定を選択した。急速な対中接近に警戒感を持つ人も少なくない。(18面)

インドネシア車販売16.9%増
89万4180台/2年連続最高

インドネシア自動車協会の会員集計によると、2011年の自動車販売台数(出荷ベース)が前年比16.9%増の89万4180台(確定値)に達し、過去最高を2年連続で更新した。(時事=6面)

1月24日(火)

三井化学、タイに安全訓練設備
プラント運転ノウハウ提供

三井化学は、2012年度にタイの石油化学生大サイアムセメントグループと、タイにプラント運転員向け安全訓練センターを新設する。三井化学が体験型訓練設備などのノウハウを提供。(1面)

インドのF A機器大手を買収
三菱電機/インバーター開発・生産



タイは旺盛な貨物需要が見込める

ANA、タイに臨時貨物便

洪水復旧で需要急増/10便

全日本空輸(ANA)は、24日から成田空港・バンコク・スワンナプーム空港間で合計10便の臨時貨物便を運航する。

タイへの航空貨物は洪水からの復旧活動に伴う臨時貨物の需要が急増。(18面)

三井化学、タイに安全訓練設備
プラント運転ノウハウ提供

三井化学は、2012年度にタイの石油化学生大サイアムセメントグループと、タイにプラント運転員向け安全訓練センターを新設する。三井化学が体験型訓練設備などのノウハウを提供。(1面)

インドのF A機器大手を買収
三菱電機/インバーター開発・生産

三井電機は、インドの大手F A機器メーカーのメサング・グループを買収し、4月から事業統合する。インバーターを現地開発・生産。メサングの生産拠点を活用する。(7面)

協和合金、インドに新工場
M T構成部品/年産500万個

協和合金は、インドで手動変速機(MT)を構成するシンクロナイザーリングを生産する。早ければ2012年9月にも生産開始。2014年度に年産500万個。海外生産は中国に続き、2カ国目。(5面)

沢藤電機、タイに製造合弁
商用車向け電気部品

沢藤電機は、タイのノンタブリー県に製造子会社「サワフジエレクトリック(タイランド)」を設立した。現地企業のタイエレクトリックインダストリーとの合弁。商用車向け電気部品など。

協和合金、インドに新工場
M T構成部品/年産500万個

協和合金は、インドで手動変速機(MT)を構成するシンクロナイザーリングを生産する。早ければ2012年9月にも生産開始。2014年度に年産500万個。海外生産は中国に続き、2カ国目。(5面)

沢藤電機、タイに製造合弁
商用車向け電気部品